

さざなみ

〒298 0111 千葉県いすみ市万木二二番地

社会福祉法人横の里 いすみ学園

電話 〇四七〇(八六)三四一一

神奈川県立 障害者支援施設(津久井やまゆり園) における殺傷事件を心から悼む

社会福祉法人 横の里 理事長 土肥 豊

第 104 号



日本中を震撼させた今回の事件は、社会福祉施設の歴史に類例を見ない程の残酷非道極まりない残酷な事件と言わざるを得ず、改めて、非道な暴漢の犠牲となった罪もない純真無垢な障害者の方達のご冥福を衷心よりお祈り申し上げたいと思います。人を疑う事を知らぬ素直な知的障害の人達は、顔見知りの元職員であった人がまさか自分達に危害を与えるなどは夢にも思わなかったに違いありません。おそらく何らの抵抗もしないままに悲惨な致命傷を負わされてしまったことでしょう。その時の犠牲となった人達の心情や身体的な苦痛を想像すると、余りにも痛々しく、居ても立ってもいられない程の深い悲しみを抱くと共に、人間として持つべき根源的な心、即ち生命の尊厳に対する敬虔な配慮をも全く喪失した暴漢に対する限らない憎しみを覚えざるを得ません。また、残されたご遺族の方々も、余りにも早い、しかも余り

にも悲惨な最後を迎えざるを得なかつたわが子の幸い薄かつた一生を思い、さぞ深いお悲しみに暮れていらつしやる事と、同じ知的障害の子を持つ親として心から同情申し上げます。衷心よりお悔やみ申し上げます。今回の事件については、多くの有識者の方々が新聞その他にコメントを寄せられておられますので、今度の事件に関する直接的なコメントの重複は避け、私は少し異なつた視点で今回の事件の底流にある私達日本人の知的障害者への配慮の乏しさについて考えてみたいと思います。今回の犯人が話したとされる殺人に及んだ動機についての言葉の中に、「世の中の何の役にも立たないで、ただ生きていくだけの様な人間は死んだ方がいいんだ。だから殺したんだ。」というような表現がありました。私はこの暴漢のこの言葉に、言葉には言い尽くせぬ程の大きな衝撃を覚えました。そしてふと戦時中に或る陸軍の高官が

公然と言いつた次の言葉を思い出しました。それは「白痴のような御国のために役に立たない奴は、どんどん死んでもらうたほうがいいんだ」という暴言でした。(当時は知的障害者を白痴とよんでいました。)多くの有識者の方達が述べておられる様に、今回の暴漢の言葉は、自己弁護的な勝手な屁理屈、乃至は大麻中毒による妄想あるいは幻覚によるものと考えられますが、私はこの言葉を新聞で読んだ時、このような極端な言動に及ぶ特殊な人間は例外としても、江戸時代から明治、大正、昭和にかけて私達一般の日本人の心の片隅に、何となく知的障害者を自分達より一段下の人間として蔑むという風潮が底流として流れており、平成の現代においても時としてそれが歪んだ形で現れてくるのではないかと考えてしまうのは、私の偏見でしょうか。でも例えば或る知的障害者のための施設を創ろうという計画が持ち上がった場合、今でも少なからぬ地域で、必ずと言っていいほど住民の反対運動が起こるといふ事実、また、国や地方行政機関では、障害者は施設に閉じこめるのではなく、一般社会の中で普通の人間と同じように暮らせるような施策を行うべきだと唱えています。実際に施設を出て、一般社会の中で暮らして見たら、近隣の人達から毎日のように色々な形でパッシングを受け、結局元の施設に戻らざるを得なかつたという話をあちらこちらで耳にするのも決

して絵空事ではありません。また、一般国民一人当たりの年間の消費金額のなかでの障害者福祉のために拠出する金額の占める割合を、個人的なレジャーに消費する金額が占める割合と比較すると、欧米の先進国に比べ我が国では驚くほど少ないことが報告されています。大分前になりますが、欧米の或る学者が、「その国の文明の度合いは、その国の国民が障害者に対してどれほどの理解と協力を示すかにある」と言つたという話を聞いたことがあります。残念ながら我が国の現状は、このような意味では、まだまだ欧米先進国には遥かに及ばないレベルではないと言わざるを得ません。今回の悲惨な事件も、勿論犯人自体に問題があることには疑いの余地はありませんが、実はその最も深い底辺には、今まで述べてきたように、障害者は自分達よりレベルの低い人間だとして疎んずるもしくは蔑むという昔ながらの風潮が、意識するしないに関わらず私達日本人の心情の片隅に潜んでいると言えないであらうかと、改めて私自身の自己反省をも含めて考えさせられてしまいました。最後になりましたが、心に深い傷を負つた残りの利用者の方達が、忌まわしい今回の出来事がもたらした大きな精神的ショックから立ち直つて、一日でも早く元の元気な、そして平和な日常の姿を取り戻すことが出来るようにと切に祈つてやみません。

## 課題抱える障害者福祉 高齢化対策と人材確保を

施設長 秋本 泰司

障害者福祉施設「いすみ学園」が設立されて32年。今、施設で暮らす60人を超える人達にとっては、既に「第二の故郷」となっている。

利用者の平日は、大人として全員が社会活動に参加し、食品加工、室内作業、石鹸づくり、手芸、地元からの受注、市の委託作業、さらにはグループホーム利用者は、地域の工場やスーパー、水産加工会社などの職場に勤めている。

週末は、スイミング、卓球、陶芸、茶道、自転車、創作、ウォーキング：とそれぞれに合わせたクラブに分かれ、日曜日はカラオケ、喫茶、ボウリング等を楽しみ、地域住民として溶け込んだ生活を続けている。

しかし、彼らを取り巻く福祉制度は、ここ10数年の間に大きく変化してきた。障がいに対する概念も移り変わった。それまでは社会の中で彼らが直面するさまざまな障壁は、本人に対する医療やリハビリなどによって軽減しようとする「医療モデル」の考えが中心であったが、それらの障壁は健常者を中心とした社会制度そのものに問題があったとする「社会モデル」に変わった。そして、それまでは保護の対象者とされていたのだが、「権利の主体

者」として明確に位置づけられるなど良い面も多々あった。

その後も続く制度改革によって福祉現場は今なお、混乱を続けている事も事実である。

今、多くの福祉施設が抱えている課題が、利用者の高齢化問題である。

いすみ学園でも利用者の平均年齢は50歳に近づき、年々求められるサービスは専門化し、多様化してきている。これらのニーズに因應するためには、支援員には専門的知識と専門的技術が必要であり、いすみ学園では介護福祉士等の専門資格の取得を奨励し、今では多くの支援員が取得者となっている。

彼らのニーズに因應していくためには支援員の質を高めても、個別対応ができる支援員の「数」がそろっていないければ応えることはできない。

のどかなこの地は、今、県内有数の高齢・過疎化地域であり、人材確保はともエネルギーのいる取り組みになっている。

少子化が進み、さらに世代間格差も異なり、若者の就労意識も大きく変化し、若者にとって福祉職はなじみの薄い職種となっている。

しかし、今の世代はネットやSNSなどで昔より横のつながりを強く求め

る世代でもあり、人と直接的な関わりを持つ現場には、新たな発想を生み出すチャンスがある。思い切つて一歩踏み出せば、面白さ、楽しさ、そして何より「働き甲斐」のある職種であると思われることができる。

一歩を踏み出す勇氣、チャレンジ度は誰にでもある。それを引き出すためには、学校教育に期待する部分もあるが、なんと言つても、福祉施設が安定したものではなければ、「福祉職は将来が見えない不安定職種」という印象はぬぐえない。

彼らが65歳になると介護保険制度への移行が取りざたされているが、それも不安定材料の一つである。

平成28年8月7日 千葉日報 掲載

### 第三者評価 利用者聴き取り調査

いすみ学園では毎年『福祉サービス第三者評価』を受審しています。28年度は「NPO法人 人材開発機構」に評価を依頼し、8月8日には新人・若手職員に対する「説明会」が行われ、その後全職員が「自己分析シート」に回答し、そしてこの8月23日には「利用者調査」が行われました。

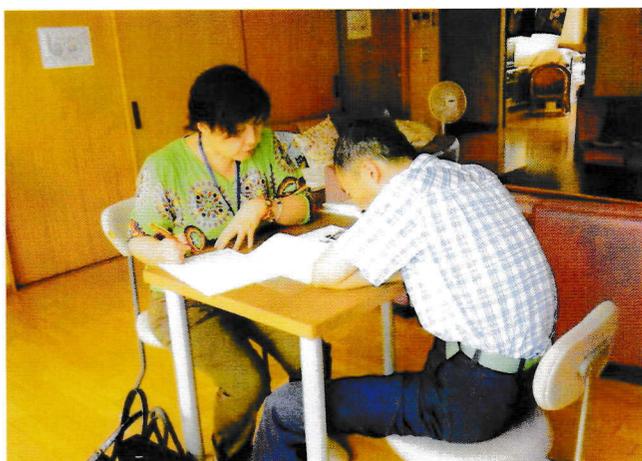
聴き取り調査では調査員4名来園され、対象利用者は生活介護を利用して、入所者・通所者60名で4グループに分かれて実施しました。

年に一度行われる利用者調査は、外部の方と話す貴重な機会の一部として、利用者の楽しみな時間でもあります。調査員の皆さんが利用者一人一人に寄り添い、目線や会話の内容を利用者に合わせる事で、利用者は皆、緊張することなく先方の質問に答えており、時には笑いが起こるなど終始、和やかな雰囲気の中で進められました。

当日は台風の影響で開始時間が大幅に遅れたり、会場を設定し直すなど気がまつわるアクシデントもありましたが、無事に終えることができました。

9月下旬には幹部職員に対する聴き取りが行われ、年末には報告書が完成する予定です。

ちなみにこの報告書は「福祉ナビ」で公開されます。  
(片岡 恵美)





夏祭りが地域交流ホームで行われるようになって、早十数年が過ぎようとしています。利用者、職員の中には以前、夕方から園庭で開催されていたことを知らない方もいるでしょう。その頃は万木青年会やボランティアの皆さんと協力しながら模擬店を開いたり、神楽囃子を招いて披露してもらったりと、地域のお祭りとして開かれていました。しかし、利用者や保護者の方も年を重ね、準備や実施に大きなご負担をかけられないようになりました。只、利用者の皆さんの楽しみは外せません。そこで規模の縮小という形で、地域交流ホーム開催に至っています。その様な移り変わりを経て昨年度は更なる高齢化対策として日中開催とし、平成二十八年度はこれを継承しつつ、利用者ご家族の皆さんと一緒に楽しんでむことをテーマに、保護者面会日を兼ねる催しとして計画されました。

七月十六日土曜日、夏祭りは開催されました。実施までには幾つかの課題をクリアしなければなりませんでしたが、いちばんは前述した『縮小』の趣旨に反する内容にならないことでした。つまり当初の様な多大なご負担を強い

る形には戻さないが、同じように親子共々楽しめる夏祭りによることです。他、日中開催による日差しの強さや気温の高さなどの天候面、参加者増による会場場所選びなどの環境面に課題がありました。そしてそれらは保護者会と学園とで検討を重ね、より良い対応を示していきたいました。具体的には「短時間の開催」「エアコンの効く交流ホーム、さらに風川美術館も使う」「やぐら、模擬店、各所の装飾によって祭りの雰囲気を出す」「盆踊りもする」等でありました。

そして当日は幸いにも曇りで、気温も摂氏三十度を越えることなく、夏の盛りを迎える時期としては比較的過ごしやすい日でした。久々の園庭開催で皆さん楽しんでもらえるか不安でしたが、模擬店のフランクフルトやジュースにビールを美味しくそうに飲み食いしたり、練習した盆踊りを楽しんだりしている姿に一安心しました。また今回は保護者会役員によるお菓子釣りゲームとポップコーン実演販売が加わり、そこには人だかりが出来、祭りの賑わいがさらに高まりました。外作業班からは、朝取りキュウリの浅漬けとミニトマトが模擬店に冷やして並べられ、夏らしさを演出してくれました。

約一時間半という短い間でしたが、終了後利用者ご家族の皆さんから「楽しかった!」という声も聞かれ、新たな夏祭りも好スタートを切ったと言って良いのではないのでしょうか。

しかし暑さや雨天時開催など課題も残りしました。次回はこれらを解消し、保護者も利用者の皆さんもご負担無く、さらに楽しめるようにしたいと思えます。

計画から準備、当日までご協力をしていただいた職員、保護者の皆さんにこの場をお借りしてお礼申し上げます。(長沼 毅)



八月五日(金)、夏の青空のもと恒例になった夏の行事を行いました。今回も四グループに分かれて実施しました。まず一グループは長柄にある、ラクレマンプールに行きました。お昼は長生村にある金曜日という大盛りで有名な食堂で食べました。二グループは、南房総市までメロンを食べに行きました。お昼を三芳村道の駅で特注弁当を食べてから安田農場で二分の一カットのメロンを食べました。食べごたえがあつて満足した様子でした。三グループは、白子にある「太陽の里」の温泉に行ってきました。ここでは、この時期になると、旅一座のショーが見られ、楽しんできました。四グループは、君津市の七里川温泉で、炉端焼きを体験してきました。煙が立ちこめる中、皆お腹いっぱい食べて満足していました。各グループ楽しんでいました。

(三上 慎一郎)



# 学園トピックス



長柄生命の森リゾート ラク・レマンプールで青空の下プールを楽しみました。たくさん泳ぎました。



太陽の里の温泉でのんびりしました。露天風呂にも入りました。大広間で、大迫力の演劇も見てきました。

南房総市にある安田農園でメロン狩りを楽しみました。大きな輪切りのメロンをみんなで頂きました。途中の三芳村道の駅で、ゆっくり昼食を楽しみました。



君津市の七里川温泉でバーベキューを楽しみました。みんなで肉や野菜を焼いて食べてきました。お肉をお腹いっぱい食べました。



園庭で盆踊り、日頃の練習の成果をみせるぞ！



ワッショイ、ワッショイ、重たいな！

7月30日、31日に第9回いすみ市山田かかし祭りに参加し、ユーモア賞を受賞しました。(金城)



松戸市美術展覧会授賞式で奨励賞を頂きました！

# 第32回 槇の里祭のご案内



## 第32回いすみ学園



# 槇の里祭

## Change

### ~ひとつの目的に向かって~

# 10月15日(土) 10:30~14:30

### ※雨天は翌日16日(日)

会場:いすみ学園園庭/駐車場:万木城跡下万木区民センター(バス送迎有り)



いすみ市マスコットキャラクター いすみん

## ステージイベント

### 国吉中学校吹奏楽部

### 赤い羽根共同募金 大抽選会

### その他楽しいイベントが盛り沢山!

### 激安バザー 近隣施設・地域商店販売

### 模擬店 作業製品の展示即売会



千葉県PRマスコットキャラクター チーパくん

〒298-0111 千葉県いすみ市万木22番地  
社会福祉法人 槇の里 いすみ学園  
TEL0470-86-3412 FAX0470-86-4935

お問い合わせ先

来る十月十五日土曜日に「第三十二回 槇の里祭」を開催します。今年には(Change)ひとつの目的に向かって)をテーマに、槇の里祭を成功させるため、ひとりひとりが協力し、目的に向かい心をとつにした学園祭を目指します。また、地域の方々の協力に対する日頃の感謝と福祉への理解を深めるため幅広い年齢の方が楽しめるように、ステージ催し物では国吉中学校のブラスバンド部の演奏やバンド演奏、各模擬店では美味しいフードコーナーや心のもった作業製品販売なども予定していますので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。  
(槇の里祭実行委員 田邊 清万)

## 《ボランテティア同時募集》

「槇の里祭」「休日余暇活動」と一緒に盛り上げてくれる方、福祉に興味・関心のある方を募集しています。  
左記連絡先までご連絡ください。  
社会福祉法人 槇の里 いすみ学園

連絡先 〒二九八〇一〇一一  
住所 千葉県いすみ市万木二二  
TEL 〇四七〇一八六一三四一二  
FAX 〇四七〇一八六一四九三五  
学園祭実行委員 田邊・金城・會津  
ボランテティア担当 佐久間・松本

## バザー用品大募集

皆様のご協力をお願い致します。

◎新品ならなんでもOK!!

雑貨・シーツ・文具・食品

衣類(クリーニング済みの物等)

注意:食品は、賞味期限内でお願い致します。

送り先:千葉県いすみ市万木22

いすみ学園

TEL:〇四七〇一八六一三四一二

担当:鶴岡

## 今後のイベント予定

①みんなであわせになるまつりin夷隅

日時:平成28年10月9日(日)

午前10時~午後3時

場所:千葉県いすみ市荻谷商店街

およびいすみ鉄道 国吉駅

②いすみふるさとまつり

日時:平成28年11月3日(木)

午前9時~午後2時

場所:千葉県いすみ市岬町

岬運動場

③つくも祭

日時:平成28年11月13日(日)

午前10時~午後2時

場所:槇の木学園

④生き生き展

日時:平成29年2月予定

午前10時~午後8時

場所:茂原アスモ

平成27年度 社会福祉法人 槇の里 決算報告

貸借対照表

平成28年3月31日 現在

資金収支計算書

自平成27年4月1日～至平成28年3月31日

事業活動計算書

自平成27年4月1日～至平成28年3月31日

貸借対照表 (一般会計) (単位:円)
Table with columns: 科目, 金額. Rows include 資産の部 (流動資産, 固定資産) and 負債の部 (流動負債, 固定負債).

資金収支計算書 (一般会計) (単位:円)
Table with columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, and other activities.

事業活動計算書 (一般会計) (単位:円)
Table with columns: 科目, 金額. Rows include サービス活動増減の部, サービス活動外増減の部, and other activities.

感謝録
次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げます。
(寄附物品)
・(有)イイジマ商会・小野美恵子・(株)アサヒグループ・(有)田辺印刷・(有)松本設...

編集後記
理事長の記事にもありますが、多数の利用者が犠牲になった相模原の殺傷事件が起きました。改めて私達は利用者...

題字は 西澤順一 さんです。(横田 武志)